TOPICS

㈱アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング（AIC）と資本業務提携、連結子会社化

キャッシュレス、カード分野における専門家集団AICは、クレジット向けのコンサルティング会社として2020年2月に設立されました。

ソルクシーズグループのクレジット案件は、政府によるキャッシュレス推進、コード決済の推進等を追い風に活況を呈しています。新たな決済システムの導入や、高度なセキュリティ機能の追加など、これまでに無いクレジット機能の構築にはより高度な専門的知見が必要となることから、AICをソルクシーズグループに迎え入れました。新規案件の獲得や既存クレジット部門の体制強化を図り、更なる経営の安定化を目指します。

Ariadne International Consulting

クラウドサービス「Fleekdrive」ユーザー数10万を突破

㈱Fleekdriveが提供する企業向けオンラインストレージ「Fleekdrive」のユーザー数が10万を突破しました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い緊急事態宣言が発出されたことで、テレワーク・在宅勤務向けクラウドサービスの需要が急速に高まったことが後押しとなりました。

「Fleekdrive」は2011年のサービス開始以来、お客様からのご要望をカタチにするために改善を重ねてまいりました。コロナ禍以降のニューノーマル時代のワークスタイルを見据え、更なるサービスの強化に努めます。

Fleekdrive

SBI AntWorks Asia㈱と統合オートメーションプラットフォームの販売契約を締結

これまでのRPAの限界を打ち破る、統合オートメーションプラットフォーム「ANTstein SQUARE」を日本国内向けに販売するSBI AntWorks Asia㈱と販売契約を締結しました。当社は、お客様のデジタルトランスフォーメーションの推進に向け、FinTech、Cloud、IoT、CASE、AI等各分野での経験を活かしたソリューションの開発・提供を推進しており、RPA技術においては、特に金融や製造業の開発現場で強みを持っております。統合オートメーションプラットフォーム「ANTstein SQUARE」は、他製品と比較して独自性が高く、コスト面においても魅力的な製品であることから、提携により業務自動化に関するコンサルティングからロボット開発、導入後の保守サポートまでの体制が拡充され、競争優位性を獲得できると判断しました。更に、当社グループのストックビジネスを組み合せた新しいソリューションの創出に繋がるものと期待しています。

SBI ANTWORKS Asia

ソルキッズ集まれ!! 第2回プログラミングワークショップ小学生向けに開催

2019年にCSR活動の取り組みの一環として、ソルクシーズグループ社員の子どもを対象に開催したプログラミングワークショップが大変好評だったため、「ソルキッズ集まれ!! 第2回プログラミングワークショップ」を開催しました。

ワークショップのプログラムは、カリキュラムをより充実させ、小学校で必修となったプログラミング教育の目的である“プログラミング的思考”を、子ども達が無意識に楽しく学習できるよう構成しました。高学年・低学年向けに難易度を調整し、前半は「プログラミングって何だ？」など座学を中心に、後半は実際にプログラミングで教材を動かしました。ゴールまでの工程を細分化して順序立てて考える論理的思考を、プログラミングに置き換えて反復することで、子ども達はゲーム感覚で学習できました。

機関投資家・アナリスト向け説明会を開催

機関投資家・アナリスト向けの説明会やスモールミーティングを開催しました。今後も定期的に開催し、より一層の情報公開に努めてまいります。

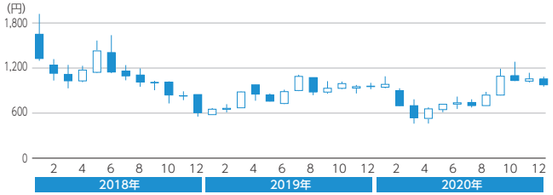
IRニュースをメールで通知

決算情報などのニュースをタイムリーに無料でお届けします。当社HPよりメールアドレスを登録して下さい。

株主メモ

決算期	12月31日
定時株主総会	3月下旬
基準日	毎年　：12月31日 配当金受領株主確定日：6月30日及び12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人 (兼 特別口座管理機関)	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物ご送付	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
電話お問合わせ先	TEL. 0120-232-711(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により、ホームページ (https://www.solxyz.co.jp)に掲載します。

株価の推移



会社情報

社名	株式会社ソルクシーズ(東証一部 証券コード:4284)
設立	1981年2月4日
資本金	14億9,450万円
事業内容	SI／受託開発業務(システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守)、ソリューション業務(セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守)及び関連機器の販売等
所在地	〔本社〕 〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-21田町ステーションタワーS 13F TEL. 03-6722-5011(代表)　FAX. 03-6722-5021 〔東京ANNEX〕 〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15LOOP-X　6F 〔福岡営業所〕 〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町4-2 TEL. 092-283-8411　FAX. 092-283-8412
従業員数	469名(グループ計755名) システムエンジニア411名、営業スタッフ15名、その他43名
URL	https://www.solxyz.co.jp
子会社	株式会社エフ・エフ・ソル、株式会社イー・アイ・ソル、 株式会社インフィニットコンサルティング、株式会社ノイマン、 株式会社エクスモーション、株式会社コアネクスト、 株式会社アスウェア、株式会社インターディメンションズ※、 株式会社Fleekdrive、 アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク合同会社、 株式会社アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング ※㈱インターディメンションズは2020年12月末時点で連結対象です。

40th 1981-2021 ANNIVERSARY

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

第41期 ソルクシーズ株主通信

2020年1月1日～2020年12月31日

私たちはお客様の夢を実現する ソリューション・カンパニーを目指しています。

お客様の業務改革を支えるのは、大胆で独創的な発想力、そして、迅速な対応力。

Change, Challenge & Speed

SOLXYZ 株式会社ソルクシーズ

証券コード:4284

2021年は“変化への対応”の年

―先の見通しの立たない状況下、変化に柔軟且つスピーディに対応―

前期（2020年12月期）の総括や今後の成長戦略等について、代表取締役社長の長尾章より ご説明いたします。

Q 前期の総括

A 新型コロナウイルス感染症で被害を受けられている方々に、心よりお見舞い申し上げます。また、感染防止活動を最前線で行う方々に心から感謝と敬意を表します。
昨年、春先から新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、世界経済は大きなダメージを受けました。我が国においても波状的に感染者が増大し、緊急事態宣言の発出とそれに伴う外出や営業等の制限により、国内経済は深刻な影響を受けました。現在までにいくつかのワクチンの開発が進み、海外では徐々に投与が開始されつつありますが、未だ予断を許さない状況が続いています。

国内IT投資については、デジタルトランスフォーメーション（DX）関連を中心に概ね堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により業種的な跛行性が強く出ました。

Q 取り組みと活動状況

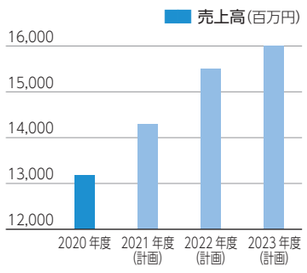
A この様な状況下、長期的な企業価値の向上に向けた戦略施策の推進に努め、多くの成果を挙げることができました。
先ず、昨年4月に、クレジット業界に特化したコンサルティングファームである㈱アリアドネ・インターナショナル・コンサルティングと資本・業務提携し、同社をグループの一員に加えることで、クレジット業界向けのコンサルティングからシステム開発への一連の流れをグループ内で構築することができました。今後は同業界の一層の優良顧客や案件を確保することで、同業界向けSIにおける当社の地歩をより確かなものとし、更なる業績向上につなげていく所存です。
次に、コロナ禍を背景に急速に需要が高まったテレワーク導入の環境づくりを支援する目的で、「Fleekdrive」を期間限定で無償提供しました。この結果、有償契約に進むお客様も増え、ユーザー数が10万を突破しました。この2年間でユーザー数は約2倍に増えており、今後の更なる躍進にはずみをつけることができました。
3つ目として、SBIグループにおいてRPAの限界を打ち破る、統合オートメーションプラットフォーム「ANTstein SQUARE」を日本国内向けに販売するSBI AntWorks Asia㈱と販売契約を締結しました。これにより、業務自動化に関するコンサルティングからロボット開発、導入後の保守サポートまで一貫して請け負う体制が整い、RPA業界における競争優位性を獲得することができました。
今年は政府主導による地銀再編なども進むことが予想され、DX需要を中心に、国内IT投資は引き続き堅調に推移すると見込まれます。

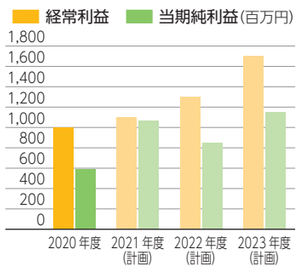
中期計画の連結売上高・利益目標

（百万円）

	2020年度（実績）	2021年度（計画）	2022年度（計画）	2023年度（計画）
売上高	13,186	14,300	15,500	16,000
（経常利益率）経常利益	（7.6%）999	（7.7%）1,100	（8.4%）1,300	（10.6%）1,700
当期純利益	593	1,070	850	1,150

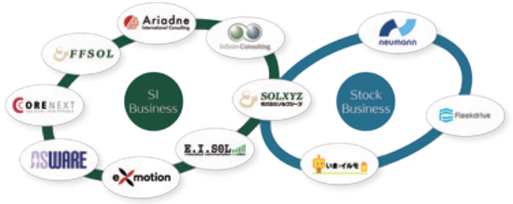
注）当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を表します。





Q 今後の成長戦略

A 当社は、SIビジネスとストック型ビジネスの両輪でお客様のビジネスを支援しています。SIビジネスではシステム企画、設計、開発、運用からインフラ構築まで、ワンストップで支援可能な体制を当社グループ全体で構築しています。更にストック型ビジネスとして、クラウドをはじめとする各種サービス・ソリューションを提供し、DXへの対応など、お客様の様々なご要望に直接お応えできるサービス体制を整えております。
今後も、これら既存のビジネスに加え、当社グループ全体で取り組んでいるFinTech、Cloud、IoT、CASE、AIなどのDX関連技術を活かして積極的にビジネスを推進し、グループの総力を挙げて企業価値の向上に努めてまいります。



ソルクシーズグループ構成

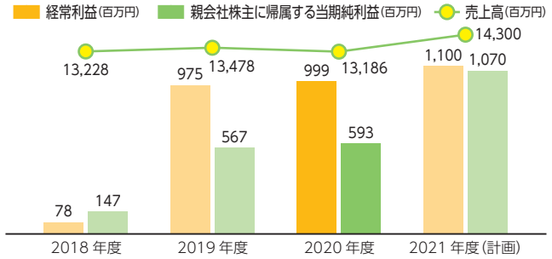
Q 株主の皆様へ

A 株主の皆様へ安定的かつ継続的な利益還元を経営の重要課題の一つと認識しております。同時に安定的な経営基盤の構築にも努め、両者のバランスの取れた経営を目指しております。このような方針に基づき、2020年12月期の配当を1株あたり16円から17円に、3期連続で増配させていただきました。2021年12月期の利益配当金につきましては、第2四半期末は内部留保に充てることとし、期末は配当性向を考慮して業績に応じた配当とする方針から、17円とする予定です。
2021年は「変化への対応」の年と定めました。2019年に端を発した新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界を脅かし、猛烈なスピードで私たちの生活様式を一変させました。今までの経験が通用しないVUCA時代※では、変化に柔軟且つスピーディに対応することが求められますが、一方で、新たなビジネスチャンスにも繋がります。このチャンスを逃すことのないよう、「Afterコロナ」に求められる「ニューノーマル」時代を見据えた施策を講じてまいります。
株主の皆様には、引き続き倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字で、不安定なビジネスの状況を表す

財務データ

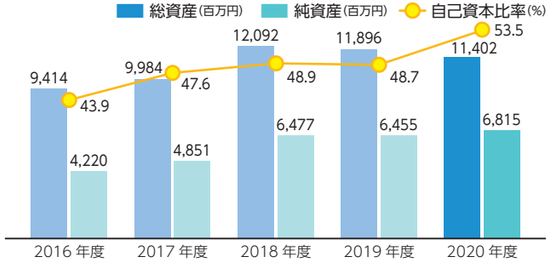
収　益



当期連結収益面のPOINT

銀行、クレジット向けSI/受託開発業務、自動車教習所向けソリューション業務、業務系コンサルティング業務等が増益となったものの、流通、官公庁向けSI/受託開発業務、組込系システム開発支援業務等が減益となり、売上高は**前年度比△2.2%⬇の13,186百万円**、売上総利益は**同△0.2%⬇の3,063百万円**、親会社株主に帰属する当期純利益は**同+4.6%⬆の593百万円**となりました。

財　務



当期連結財務状態のPOINT

当連結会計期間末の総資産は、退職給付信託への現金拠出により退職給付引当が減少したことや、投資事業組合への出資に対する分配金や上場株式の売却により、投資有価証券が減少したことが影響し、前期末比**△4.2%⬇の11,402百万円**、純資産は同**+5.6%⬆の6,815百万円**となりました。
また、自己資本比率は53.5%（前連結会計年度末は48.7%）となりました。

（千円）

キャッシュ・フロー計算書（要旨）	2018年度	2019年度	2020年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	798,257	1,497,741	△ 37,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	235,109	△ 588,514	△ 165,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,388,011	△ 742,785	△ 101,809
現金及び現金同等物の期末残高	4,837,130	5,003,572	4,699,126